

## (5) 屋上緑化に適した植物



屋上緑化は強風や乾燥・高温などの環境条件があり、屋上緑化の環境に適する(耐乾性、耐風性、耐暑性等)植物を採用すれば、安定した生育が得られます。また、剪定頻度が少ない生長の遅い植物や病虫害に強い植物とすることで、維持管理の負担を軽減できます。地被類は、雑草の繁茂や土壌の飛散を抑える効果があるものもあります。

樹木	<p><b>モッコク (常緑高中木)</b> 陽・陰/6~15m/耐湿・公害</p>  <p>初夏に白い花をつけ、秋に1cmほどの実を付ける。生長は遅いが、剪定に耐える。病虫害に強い。</p>	<p><b>ハナミズキ (落葉高木)</b> 陽/3~4m/耐湿・公害</p>  <p>秋に紅葉し、春に白またはピンクの花をつける。日向、肥えた土壌を好み、夏の乾燥・剪定は苦手。</p>
	<p><b>ヤマモモ (常緑高木)</b> 陽/~10m/耐乾・湿・風</p>  <p>土壌を選ばず、生長は遅いが刈込に耐える。病虫害に強い。実は食べられる。</p>	<p><b>ハナズオウ (落葉中木)</b> 陽/2~3m/耐乾・湿</p>  <p>紅紫色の小花を多くつける。寒さや虫には強いが、潮害には弱い。1本ずつ植えるのに向いている。</p>
	<p><b>カイズカイブキ (コニファー)</b> 陽/8~10m/耐乾・風・公害</p>  <p>日向を好み、生長は遅いが萌芽力がある。樹形は様々。病虫害・乾燥に強い。剪定に強い。</p>	<p><b>ライラック (落葉中木)</b> 陽/3~4m/耐寒</p>  <p>土質を選ばず、剪定に耐える。暖かいところでは生長が良くない。花は強い香りを放つ。</p>
	<p><b>ビョウヤナギ (半落葉小低木)</b> 陽・陰/0.5~1.5m/耐寒</p>  <p>寒冷地では半落葉となる。生長は早く、刈込に耐える。初夏に黄色い花をつける。</p>	<p><b>コデマリ (落葉低木)</b> 陽/1~2m/耐寒・暑</p>  <p>日向を好み、水はけのよい土でよく生長する。刈込に耐える。春に白い花を多くつける。</p>
低木・下木	<p><b>ローズマリー (常緑低木) 薄層緑化可</b> 陽/~2m/耐寒・乾</p>  <p>ハーブで、生育が盛んである。湿気に弱く、立性とほふく性がある。料理等に利用できる。</p>	<p><b>ラベンダー (常緑低木) 薄層緑化可</b> 陽/0.6~1m/耐寒・乾</p>  <p>ハーブであり、ヨーロッパ原産。品種が多い。春に紫などの花をつける。高温多湿に弱い。生育は良い。</p>
	<p><b>フッキソウ (下木常緑)</b> 陽・陰/0.2~0.3m/耐湿・乾・暑・風・雪</p>  <p>茎は地面を這い、先が立ち上がる。多数の葉がらせん状につく。花は春に咲く。よく茂る。</p>	<p><b>ジンチョウゲ (常緑低木)</b> 陽・陰/1~1.5m/耐寒</p>  <p>春に香りの強い花。生長はやや遅い。刈込に耐える。根付が悪く、大株の移植は困難である。暑さに弱い。</p>

低木・下木	<b>フィリフェラオーレア (コニファー)</b> 陽/0.2~5m/耐寒・暑・風  日本原産。黄金色の枝垂れた葉を持つ。冬には褐色になる。刈込に耐え、地被としての利用が多い。	<b>ヤブコウジ (下木常緑) 薄層緑化可</b> 陰/~0.1m/耐湿・暑・風・雪  耐陰性があり秋から冬にかけて見られる赤い葉が美しい品種。
	<b>ハイバクシン (コニファー)</b> 陽/0.1~0.5m/耐暑・風・雪  日本原産。ほふく性の低木、地被植物によく使われる。乾燥に比較的強い。	<b>オタフクナンテン (常緑低木) 薄層緑化</b> 陽・陰/0.3~0.5m/耐乾  冬になると鮮やかな赤色に紅葉する。アクセントとなり、和・洋どちらにも合う。
草花	<b>フィリヤブラン (常緑多年草) 薄層緑化可</b> 陽・陰/0.5m前後/耐乾・暑・雪  日本原産。寒さに強く斑入りの細い葉が特徴。花はぶどうの房のように連なって咲く。	<b>ツワブキ (常緑多年草)</b> 陰/0.5m前後/耐乾・暑  初夏に黄色い花をつける。日陰でも育つ。石組みや木の根元などに好まれる。
	<b>ヒメイワダレソウ (常緑多年草) 薄層緑化</b> 陽・陰/~0.1m/耐乾・暑・寒・風・雪  初夏に黄色い花をつける。日向を好む。生長が早く、雑草の抑制や早期緑化に効果的といえる。	<b>ヒマラヤユキノシタ (常緑多年草) 薄層緑化</b> 陽・陰/0.1~0.6m/耐乾・暑・風・雪  春に小さな花をつける。環境に対応でき、丈夫であるが、肥えた土壌と日向を好む。
地被・セダム	<b>シバザクラ (宿根常緑) 薄層緑化可</b> 陽/~0.1m/耐乾・暑・寒・風・雪  春に小さな花をつける。丈夫だが、肥えた土壌と日向を好む。	<b>マツバギク (宿根常緑) 薄層緑化可</b> 陽/~0.1m/耐乾・暑・雪  3~9月に赤紫の花をつける。乾燥に強いが、多湿に弱い。寒さはやや苦手。生長が早い。

## (6) 壁面緑化に適した植物

壁面緑化は強風や乾燥、垂直面という環境条件があります。壁面緑化では使用する工法によって植物の選定が異なり、ユニットタイプ以外は生長が早く、早く壁面緑化景観をつくり出すツル植物を使用します。

登はん・下垂・ユニット	<b>ヘデラ (吸着登はん下垂常緑) 葉</b> 陽・陰/0.5~1.5m/耐乾・暑・寒・雪  乾燥、暑さに強く、メンテナンスに手間がかかりにくい。生長が早く、下垂等にも向く。葉色も豊富。	<b>テイカカズラ (巻つる常緑) 花</b> 陽・陰/1m/耐寒・暑  初夏に無数の白い花をつける。生長が早く、上方向に伸びる。フェンスへの利用が多い。壁に付着させることもある。
-------------	---	--



	<p><b>ノウゼンカズラ（巻つる落葉） 花</b> 陽/1m/耐寒・暑</p>  <p>夏に大輪のオレンジの花をつける。病虫害は少ない。冬の定期的な剪定・誘引を行う必要がある。</p>	<p><b>ナツユキカズラ（巻つる落葉低木）花</b> 陽/耐乾・寒・暑・風</p>  <p>生育がよく、夏から秋にかけて雪のような花をつける。つる性で7~10cm以上伸びる。開花時は甘い香りがする。</p>
登はん・下垂	<p><b>ツルニチニチソウ（つる常緑半低木）</b> 陽・陰/0.1~0.5m/耐暑 補助資材</p>  <p>一年中、淡い青色~紫色または白色の花を1~2日咲かせる。葉は光沢があり、斑入りの種類もある。</p>	<p><b>クレマチス類（巻つる落葉）</b> 陽/~0.1m/耐寒・暑 補助資材</p>  <p>品種が非常に多く、花の色も多種にわたる。移植に弱い。水はけが良い場所を好み、乾燥に弱い。</p>
	<p><b>トケイソウ（巻つる落葉）</b> 陽/~0.1m/耐暑 補助資材</p>  <p>時計の文字盤を思わせる花が魅力。寒さにやや弱い。日当たりと水はけの良い場所を好む。</p>	<p><b>キウイ（巻つる落葉果樹）</b> 陽・陰/2.5m/耐寒・暑 補助資材</p>  <p>雄雌を1株ずつ植え、誘引することによって、秋に多数の果実が収穫できる。マタタビ属のため猫に注意。</p>
登はん	<p><b>キツタ（吸着型登はん常緑） 葉</b> 陽・陰/耐寒・暑</p>  <p>乾燥、暑さに強く、メンテナンスに手間がかからない。生長が早く、下垂等にも向いている。葉色も豊富である。</p>	<p><b>ナツツタ（吸着型登はん落葉） 葉</b> 陽/2.5m/耐寒・暑</p>  <p>芽吹きから紅葉まで美しい。自力で壁面を登る。特別な管理は必要ない。フェンス利用は適さない。</p>
	<p><b>ツルアジサイ（吸着型登はん落葉）</b> やや陽/耐寒</p>  <p>都会の乾燥と暑さを嫌う。湿润な環境を好む。</p>	<p><b>ツルウメモドキ（落葉低木）</b> 陽/1m/耐寒・暑 補助資材</p>  <p>山地に生える。秋にオレンジ色の実をつける。生花にも使われる。</p>
下垂・ユニット	<p><b>コトネアスター類（つる性常緑低木）実</b> 陽・陰/耐乾・寒 下垂</p>  <p>大木性でまっすぐ下に垂れる。冬に多数の赤い実をつける。病虫害が少ない。品種が多い。</p>	<p><b>コニファー類（ほふく常緑） 葉</b> 陽/耐乾 下垂</p>  <p>ほふく性がある。ブルーパシフィックという品種は早く生長し、下垂する。触ると少し痛い。病虫害が少ない。</p>

## (7) 駐車場の緑化に適した植物例

排気ガス、暑さ、乾燥に強いなど駐車場の気象条件、利用頻度、管理条件を踏まえ選定します。緑陰樹は樹液・葉・実・虫等が落ちにくい樹種、芝生駐車場は耐暑性、耐寒性、耐干性、耐踏圧性などを考慮します。

後 方 部	<p><b>ツツジ (常緑・落葉/低木・小高木)</b> 陽/0.3~5m/耐暑・寒</p>  <p>4~5月に色鮮やかな赤や桃色、白い花を咲かせる。種類が多い。排ガスに強い。生長は遅い。</p>	<p><b>ハマヒサカキ (常緑低木)</b> 陽/1.5~5m/耐乾</p>  <p>海岸林に多く、排ガスに強い。生長は遅い。葉が丸く分厚く、光沢がある。雄と雌で株が異なる。小さい花をつける。</p>
	緑 陰 樹	<p><b>クスノキ (常緑高木)</b> 陽/20m以上/耐湿</p>  <p>排ガスに強い。大きく生長する。初夏に落葉する。新緑が美しく、5月末頃には房状の花をつける。</p>
芝 生 駐 車 場		<p><b>ノシバ (宿根落葉)</b> 陽/0.1m以上/耐乾・暑・踏・陰</p>  <p>冬に葉が枯れるが、踏圧・刈込に強い。直線的に繁殖し、伸びが早い。</p>
	<p><b>タマリユウ (宿根常緑)</b> 陽・陰/~0.1m/耐乾・暑・風・雪</p>  <p>耐寒・耐暑で草丈が低く、密に被覆する。濃い緑色の線状葉をつける。日向や乾燥地では葉やけを起こす。</p>	<p><b>バミューダグラス (宿根落葉)</b> 陽/0.2~0.5m/耐乾・暑・踏・陰</p>  <p>踏圧に強いが耐陰性に劣る。休眠期間は短く、葉はやわらかく濃い緑色で鮮やか。葉の密度は高い。</p>

## 7 資料編

### 7-1 みどりのまちづくり推進事業補助金（改正：平成26年4月1日）

都心中心部（約196ha）の区域内において、新たに緑化を行う場合、緑化費用の一部を助成する制度。緑化地域制度の対象規模（500㎡以上）の建築物のみならず、小規模な敷地の戸建て住宅や既存の建築物なども対象とします。

交付率	対象規模	交付限度額
個人申請 5/10 組織申請 6/10  ※プロムナードに接する敷地の場合 個人申請 8/10 組織申請 9/10  ※組織申請とは、所有者が異なる敷地が5つ以上連続し、かつその所有者のうちのひとりを経営の代表とした申請	<b>【屋上、壁面、空地緑化】</b> 緑化面積 10㎡以上  ※プロムナードに接する敷地の場合 緑化面積 2㎡以上	<b>【屋上、壁面緑化】</b> 個人申請 3万円/㎡ 組織申請 3万6千円/㎡  <b>【空地緑化】</b> 個人申請 1万5千円/㎡ 組織申請 1万8千円/㎡  ※プロムナードに接する敷地の場合 <b>【屋上、壁面、空地緑化】</b> 個人申請 4万8千円/㎡ 組織申請 5万4千円/㎡
	<b>【駐車場緑化】</b> 緑化面積 50㎡以上	個人申請 2万円/㎡ 組織申請 2万4千円/㎡  ※プロムナードに接する敷地の場合 個人申請 3万2千円/㎡ 組織申請 3万6千円/㎡
	<b>【生垣設置】</b> 5m以上	個人申請 5千円/㎡ 組織申請 6千円/㎡  ※プロムナードに接する敷地の場合 個人申請 8千円/㎡ 組織申請 9千円/㎡

#### 【注意事項】

- 1 補助金の交付は、予算の範囲内でかつ交付金の限度額以下となります。
- 2 優良な緑化の要件を満たす必要があります。
- 3 緑化地域制度の対象規模に該当する場合において、助成制度を活用する場合は、豊田市緑化推進条例で規定される緑化率等の最低限度を満足しないときは、助成の交付対象とならないため、注意が必要となります。詳しくは、豊田市公園緑地つかう課にお問合せ下さい。

様式第1号（第4条関係）

緑化率等適合証明申請書

年 月 日

豊田市長 様

申請者 住所

氏名

（法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名）

電話番号

都市緑地法施行規則第25条

豊田市緑化推進条例第5条第5項

の規定による

豊田市緑化推進条例第6条第3項において準用する同条例第5条第5項

証明を受けたいので、次のとおり申請します。

建築物の名称				
地名地番				
建築物の用途				
用途地域				
敷地面積	㎡			
建ぺい率の緩和	<input type="checkbox"/> 防火地域内の耐火建築物 <input type="checkbox"/> 市が指定する角地等			
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定に よる緑化率等の最低限度	%	
工事種別・増築割合	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築（都市計画決定告示の床面積の合計に対する増築後の床面積の 合計の割合：    %）			
緑化施設等の面積	緑化施設	㎡	緑化率	%
	環境負荷低減施設	㎡	環境負荷低減率	%
工事着手予定年月日	年 月 日			
工事完了予定年月日	年 月 日			
担当者 （設計管理者）	住所 氏名 電話番号			

注意 該当する□の中にレ印をつけてください。



様式第2号（第4条、第5条、第10条関係）

（表）

緑化施設等概要書

1 種別  適合  適用除外  完了延期  完了

2 緑化施設等の面積

（都市緑地法施行規則第9条関連）

面積の算出項目		面積 (㎡)
地上緑化	樹木の面積	①樹冠の水平投影面積
		②みなし樹冠の水平投影面積
		③一定の条件に該当する植栽基盤の水平投影面積
	④芝その他の地被植物の水平投影面積	
	⑤花壇その他これらに類するものの水平投影面積	
	⑥水流、池その他これらに類するものの水平投影面積	
	⑦園路、土留その他の施設の水平投影面積	(A)
	⑧地上における緑化施設的面積（①～⑦の計）	
屋上緑化	⑨屋上における①～⑥の面積の計	
	⑩屋上における⑦の面積	(B)
	⑪屋上における緑化施設的面積（⑨+⑩）	
⑫壁面における緑化施設的面積		
緑化施設的面積（⑧+⑪+⑫）		(C)

（豊田市緑化推進規則第13条関連） ※該当する場合のみ記入してください。

面積の算出項目		面積 (㎡)
環境負荷低減施設	⑬太陽光発電設備の面積（太陽電池パネルの設置面積）	
	⑭その他市長が認めた施設の面積	
	環境負荷低減施設的面積（⑬+⑭）	(D)

(裏)

3 緑化施設の面積に占める園路、土留等の面積の割合

園路、土留等の面積 [(A) + (B)]	m <sup>2</sup>		
<hr/>		× 100 =	%
緑化施設の面積 (C)	m <sup>2</sup>		

4 緑化率

緑化施設の面積 (C)	m <sup>2</sup>		
<hr/>		× 100 =	%
敷地面積	m <sup>2</sup>		

5 環境負荷低減率 ※該当する場合のみ記入してください。

環境負荷低減施設の面積 (D)	m <sup>2</sup>		
<hr/>		× 100 =	%
敷地面積	m <sup>2</sup>		

注意 該当する□の中にレ印をつけてください。



様式第3号（第4条関係）

緑化率等適合証明通知書

年 月 日

様

豊田市長



年 月 日付けで申請のありました建築物の

緑化率  
緑化率等

については、

都市緑地法施行規則第25条

豊田市緑化推進条例第5条第5項

の規定により、

豊田市緑化推進条例第6条第3項において準用する同条例第5条第5項

都市緑地法第35条

都市緑地法第36条

次のとおり

同条例第5条

の規定に適合していることを証明します。

同条例第6条

建築物の名称				
地名地番				
敷地面積	㎡			
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定に よる緑化率等の最低限度		%
緑化施設等の面積	緑化施設	㎡	緑化率	%
	環境負荷低減施設	㎡	環境負荷低減率	%

様式第4号（第5条関係）

緑化率等規制適用除外許可申請書

年 月 日

豊田市長 様

申請者 住所  
氏名  
(法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名)  
電話番号

都市緑地法第35条第3項第 号  
豊田市緑化推進条例第5条第4項第 号 の規定による適用除外の許可を受けたい

ので、次のとおり申請します。

建築物の名称				
地名地番				
建築物の用途				
用途地域				
①敷地面積	㎡			
建ぺい率の緩和	<input type="checkbox"/> 防火地域内の耐火建築物 <input type="checkbox"/> 市が指定する角地等			
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定によ る緑化率等の最低限度	%	
工事種別・増築割合	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築(都市計画決定告示日の床面積の合計に対する増築後の床面積 の合計の割合： %)			
緑化施設等の面積	②緑化施設	㎡	緑化率	%
	環境負荷低減施設	㎡	環境負荷低減率	%
③用途により緑化が困 難な敷地の面積	㎡	④がけ地等の面積		㎡
⑤緑化が可能な敷地の 面積 (① - (③ + ④))	㎡	緑化が可能な敷地における 緑化率 (② / ⑤ × 100)		%
工事着手予定年月日	年 月 日			
工事完了予定年月日	年 月 日			
申請理由				
担当者 (設計管理者)	住所 氏名 電話番号			

注意 該当する□の中にレ印をつけてください。

様式第5号（第5条関係）

緑化率等規制適用除外許可通知書

年 月 日

様

豊田市長



年 月 日付けで申請のありました

緑化率  
緑化率等 の規制の適用除外につい

ては、 都市緑地法第35条第3項第 号  
豊田市緑化推進条例第5条第4項第 号 の規定により、次のとおり許可しま  
したので通知します。

建築物の名称				
地名地番				
敷地面積	m <sup>2</sup>			
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定によ る緑化率等の最低限度		%
緑化施設等の面積	緑化施設	m <sup>2</sup>	緑化率	%
	環境負荷低減施設	m <sup>2</sup>	環境負荷低減率	%
緑化が可能な敷地の面 積	m <sup>2</sup>	緑化が可能な敷地における 緑化率		%
許可条件				



様式第6号（第6条関係）

緑化施設工事完了延期認定通知書

年 月 日

様

豊田市長



年 月 日付けで申請のありました緑化施設の工事の完了の延期については、都市緑地法第43条第1項の規定により、次のとおり認定しましたので通知します。

1 緑化施設を整備する建築物の敷地の位置及び面積

建築物の名称	
地名地番	
敷地面積	m <sup>2</sup>

2 整備する緑化施設の概要、規模、配置、種別及び面積

整備する緑化施設の概要及び規模	
配置	
種別	
面積	m <sup>2</sup>

3 上記2のうち工事を完了することができない緑化施設の概要、規模、配置、種別、面積及び完了予定年月日

工事を完了することができない緑化施設の概要及び規模	
配置	
種別	
面積	m <sup>2</sup>
完了予定年月日	年 月 日

様式第7号（第7条関係）

申請取下届

年 月 日

豊田市長 様

届出者 住所  
氏名

（法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名）

電話番号

申請を取り下げるので、豊田市緑化推進規則第7条の規定により、次のとおり届け出ます。

申請書の名称	<input type="checkbox"/> 緑化率等適合証明申請書 <input type="checkbox"/> 緑化率等規制適用除外許可申請書 <input type="checkbox"/> 緑化施設工事完了延期認定申請書
申請年月日	年 月 日
建築物の名称	
地名地番	
取下げの理由	
担当者 （設計管理者）	住所 氏名 電話番号

注意 該当する□の中にレ印をつけてください。

様式第8号（第8条関係）

申請書等記載事項変更届

年 月 日

豊田市長 様

届出者 住所

氏名

（法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名）

電話番号

申請書等に記載した項目を変更するので、豊田市緑化推進規則第8条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

通知書交付年月日及び 番号	年 月 日 第 号			
建築物の名称				
地名地番				
敷地面積	m <sup>2</sup>			
変更事項	変更前			
	変更後			
緑化施設の面積	変更前	m <sup>2</sup>	変更後	m <sup>2</sup>
緑化率	変更前	%	変更後	%
環境負荷低減施設の面積	変更前	m <sup>2</sup>	変更後	m <sup>2</sup>
環境負荷低減率	変更前	%	変更後	%
工事完了予定年月日	変更前	年 月 日	変更後	年 月 日
変更理由				
担当者 （設計管理者）	住所 氏名 電話番号			



様式第9号（第9条関係）

工事中止届

年 月 日

豊田市長 様

届出者 住所  
氏名

（法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名）

電話番号

工事を中止したので、豊田市緑化推進規則第9条の規定により、次のとおり届け出ます。

通知書交付年月日及び 番号	年 月 日 第 号
建築物の名称	
地名 地番	
中止の理由	
担当者 （設計管理者）	住所 氏名 電話番号

様式第10号（第10条関係）

緑化施設等工事完了届

年 月 日

豊田市長 様

届出者 住所  
氏名  
(法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名)  
電話番号

緑化施設及び環境負荷低減施設に係る工事を完了したので、豊田市緑化推進条例第8条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

通知書交付年月日及び 番号	年 月 日 第 号		
建築物の名称			
地名地番			
敷地面積	㎡		
建ぺい率の緩和	<input type="checkbox"/> 防火地域内の耐火建築物 <input type="checkbox"/> 市が指定する角地等		
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定によ る緑化率等の最低限度	%
工事種別・増築割合	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築(都市計画決定告示日の床面積の合計に対する増築後の床面積 の合計の割合： %)		
緑化施設等の面積	緑化施設	㎡	緑化率 %
	環境負荷低減施設	㎡	環境負荷低減率 %
工事着手年月日	年 月 日		
工事完了年月日	年 月 日		
担当者 (設計管理者)	住所 氏名 電話番号		

注意 該当する□の中にレ印をつけてください。

様式第11号(第10条関係)

緑化施設等工事完了確認証明通知書

年 月 日

様

豊田市長



年 月 日付けで届出のありました建築物の

緑化率  
緑化率等 (については、

豊田市緑化推進条例第8条第2項

の規定により、

豊田市緑化推進条例第8条第3項において準用する同条第2項

都市緑地法第35条

都市緑地法第36条

次のとおり

同条例第5条

の規定に適合していることを確認しましたので、証明

同条例第6条

します。

通知書交付年月日及び 番号	年 月 日 第 号			
建築物の名称				
地名地番				
敷地面積	m <sup>2</sup>			
都市緑地法の規定による 緑化率の最低限度	%	豊田市緑化推進条例の規定によ る緑化率等の最低限度	%	
緑化施設等の面積	緑化施設	m <sup>2</sup>	緑化率	%
	環境負荷低減施設	m <sup>2</sup>	環境負荷低減率	%
工事完了年月日	年 月 日			



様式第 1 2 号 (第 1 1 条関係)

(表)

第 号	
身分証明書	
	所属 職名 氏名
上記の者は、	都市緑地法第 3 8 条第 1 項 豊田市緑化推進条例第 1 1 条第 2 項
職員であることを証明します。	の規定により立入検査を行う
年 月 日	
豊田市長	
印	
有効期限 年 月 日	

(裏)

都市緑地法 (抜すい)

(報告及び立入検査)

第 3 8 条 市町村長は、前条の規定の施行に必要な限度において、政令で定めるところにより、建築物の新築若しくは増築又は維持保全をする者に対し、建築物の緑化率の最低限度に関する基準への適合若しくは緑化施設の管理に関する事項に関し報告させ、又はその職員に、建築物若しくはその敷地若しくはそれらの工事現場に立ち入り、建築物、緑化施設、書類その他の物件を検査させることができる。

2 (略)

豊田市緑化推進条例 (抜すい)

(報告及び立入検査)

第 1 1 条 市長は、この条例の施行に必要な限度において、建築物の新築若しくは増築又は維持保全をする者に対し、建築物の緑化率等の最低限度に関する基準への適合又は緑化施設等の管理に関する事項に関し、必要な報告を求め、又は資料を提出させることができる。

2 市長は、この条例の施行に必要な限度において、当該職員に、建築物若しくはその敷地又はそれらの工事現場に立ち入り、緑化施設等、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。

3 前項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人の請求があったときは、これを提示しなければならない。

4 第 2 項の規定による権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

備考 用紙の大きさは、縦 5. 5 センチメートル、横 9. 1 センチメートル

## 7-5 緑化施設工事完了延期認定申請書様式【都市緑地法】

別記様式第二（第十条関係）

緑化施設工事完了延期認定申請書

年 月 日

豊田市長 殿

申請者の住所又は主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称

印

都市緑地法43条第1項の規定に基づき、建築基準法第6条第1項の規定による工事の完了の日までに緑化施設に関する工事を完了することができないことについて認定を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

注1 申請者が法人である場合には、代表者の指名も併せて記載すること。

2 氏名の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができる。

1 緑化施設を整備する建築物の敷地の位置及び面積

建築物の名称	
地名地番	
敷地面積	

2 既存の緑化施設の位置、種別及び面積

既存の緑化施設の位置	配置図のとおり
種別	配置図のとおり
面積	

3 整備する緑化施設の概要、規模、配置、種別及び面積

整備する緑化施設の概要及び規模	
配置	配置図のとおり
種別	配置図のとおり
面積	

4 上記3のうち工事を完了することができない緑化施設の概要、規模、配置、種別、面積、当該工事を完了することが出来ない理由及び完了予定年月日

工事を完了することができない緑化施設の概要及び規模	
配置	配置図のとおり
種別	配置図のとおり
面積	
工事を完了することが出来ない理由	
完了予定年月日	年 月 日

5 緑化施設の面積の敷地面積に対する割合

上記2と3を合計した緑化施設の面積の敷地面積に対する割合	
上記2と3を合計した緑化施設の面積から上記4の緑化施設の面積を減じた緑化施設の面積の敷地面積に対する割合	

(注) 面積については、都市緑地法施行規則第9条の規定に基づいて計算すること。